



新年あけましておめでとうございます
三学期もよろしく願いいたします



昨年中は、頸城中学校の様々な教育活動に、保護者の皆様、
地域の皆様のご理解とご支援をいただきました。改めて感謝
申し上げます。本当にありがとうございました。今年も昨年
同様、よろしく願いします。

学校長 田中 敦



一日一日を大切に ～始業式の校長講話から～

冬の間に桜の木がエネルギーをためているように、人も、花が咲く
時をじっくり待つことが大切です。準備を念入りにすればするほど、
時が来たときに大きな花や実をつけるのだと思います。

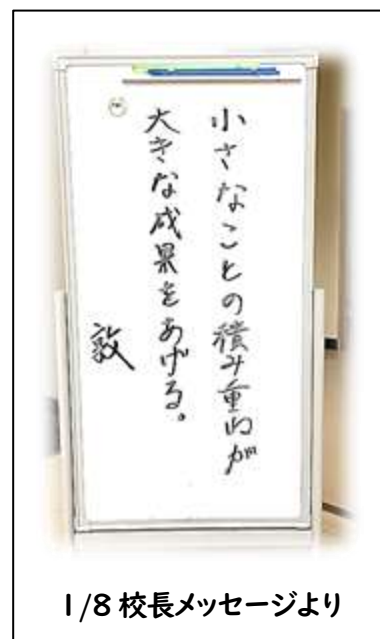
準備の時は小さなことをおろそかにしてはいけません。まず身の回
りの小さなことをきちんとやり遂げること。それが大事です。

箱根駅伝で優勝した青山学院大の4年生は「ダメダメ学年」と言わ
れてきたそうです。しかし、ミーティングを繰り返し、後輩から目標
にされ、慕われ、信頼されるためにどうすればよいかを真剣に考え、
その後、走り込み等の単調な練習を着実にこなしていったそうです。
それが今回の成果につながったのです。大きな花を咲かせたのです。



私たちは、目の前の勉強や仕事、練習等を一
生懸命やればよいのです。それしかないの
です。一生懸命やればやるほど成果は現れてくる
はずです。そして、それは他者からの「信頼」にもつながります。

3学期はあっという間に終わります。1日1日を大切に生活していき
ましょう。



1/8 校長メッセージより

スキー授業がありました

記録的な小雪で実施が危ぶまれた1月21日（火）のスキー授業。前日からの降雪に一安心したものの、当日は朝から強風が吹き荒れ、リフトが止まることも心配されました。しかし、キューピットバレイスキー場に着く頃には風もおさまり、無事にスキー授業を開催することができました。

「頸城中の生徒はいい子ですね。話をしっかり聞いてくれます。今日は一度も大きな声を出していません。」ある班のインストラクターの先生（元中学校の体育教師）が教えてくださいました。決して良いコンディションとは言えない状況下で、生徒たちはよく頑張りました。初心者班の生徒たちも、最後には全員が自分の力で滑れるようになるなど、生徒たちの成長ぶりには驚くばかり。みんな本当に上手になりました。今回で終わりにせず、積極的にウィンタースポーツに親しんでほしいです。スキー場に雪が積もりますように！



Rafvery さんのライブに出演

昨年の12月22日（日）、高田公園オーレンプラザにて「Rafvery ホールワンマンライブ〜TSUMUGI〜」が盛大に開催されました。Rafvery のお二人、特に KAZZ さん（頸城中卒業生）にとっては、地元初開催となる単独ライブです。ライブにかける想いは相当のものだったことでしょう。

その大切なライブへの出演依頼が、頸城中に舞い込んできました。創立40周年記念合唱曲「七色模様」を Rafvery のお二人と一緒にステージで歌うというものです。ライブ当日は、有志29名がリハーサルから参加し、ほぼ満席の会場に「七色模様」を高らかに響かせました。



リハーサルの様子



ライブの最後に全員で記念撮影

頸城中生徒の活躍

◆サッカー部

新潟県選抜中学生フットサル大会 上越地区予選会

2位 県大会出場決定！

◆よさこい部

2020にいがた総おどり（9/20）

出場決定！